



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	ライぶらり Vol.35, No.2
Author(s)	東京学芸大学附属図書館
Citation	
Issue Date	2006-06-00
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2309/60033">http://hdl.handle.net/2309/60033</a>
Publisher	東京学芸大学附属図書館
Rights	

# ライぶらり

TOKYO GAKUGEI UNIVERSITY LIBRARY NEWS

## 自己の再発見につながる 附属学校での教育実習

京極邦明

教育実習に臨む皆さんのために、次のような3つの目当てを記しました。これらを参考にして教育実習に臨んでみてください。

### 1 自己の再発見と教職への適性の判断

実習生の中には、「教職に就こう」という意識が曖昧であった人の方が、その意思を明確にもった人よりも教育実習で大きな成果を収めることがあります。その中には「教職に就こう」という意識に変わっていく人もいます。教育実習はあなたの意識を大きく変えるきっかけになることがあるのです。この意識変革は「自己の再発見」であり、教育実習はあなたに「自己の再発見」、「自己変革」を促すのです。それが、教職適性を判断する一つの材料になるかもしれません。

### 2 学んだことを具体化する場としての教育実習

大学で学んだことはそのままの形では、教育実践の場では通用しません。「授業の導入をどう構成するか」などの場面で具体化してみる必要があります。それによって、教材に対する見方や生徒理解を深め、ようやく大学で学んだことを意味付け、学んだことに「血を通わせる」ことができます。大学で学んだことが教育現場でどのように具体化されているかを垣間見ることができるだけでも、教育実習の大きな収穫といえるでしょう。

&lt; 次頁へつづく &gt;



### [特集] 教育実習

- 自己の再発見につながる  
附属学校での教育実習（京極邦明） 1～2  
教育実習お役立ち情報  
～教科書・指導書・学習指導要領の探し方～ 2～3  
先輩から教育実習生へのメッセージ（藤井舞） 4  
図書館ホームページおすすめコンテンツ  
「E-TOPIA」 4

### 3 実体験を通じた教職への理解

中学校、高等学校では、教科の指導教員だけでなく配属された学級の担任教師からも指導を受けることができます。それらはすべて、皆さんの将来を慮った成長の糧になるものです。皆さんはそこから、教育現場の果たしている役割の重大さ、教職の大変さ、ときには愉しさを十分に吸収して下さい。教育実習は皆さんに教育現場での実体験を基にして、「教職とは何か」、「仕事を通じた自己実現とは」等のことを考える機会を与えてくれます。

(きょうごく・くにあき 附属小金井中学校教育実習主任)

## 教育実習お役立ち情報 ～教科書・指導書・学習指導要領の探し方～

附属図書館には、教育実習に役立つ様々な資料や情報源があります。実習先や担当する科目、内容が決まったら、早速関連資料をチェックしてみましょう。

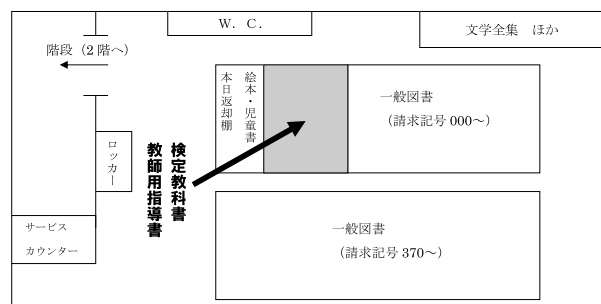
### 検定教科書・教師用指導書

附属図書館では検定教科書を網羅的に所蔵しています。教師用指導書は、小学校、中学校で使用されているものについては全て、高等学校で使用されているものについては全国における採択率1位のものを所蔵しています。

#### どこにあるの？

附属図書館1階の教科書・教師用指導書コーナーにあります。小学校分は約3改訂分、中学校、高等学校分は約2改訂分置いてあります。それ以前の教科書・教師用指導書や小学校、中学校の教科書の複本は書庫の教科書・教師用指導書コーナーに置いてあります。書庫には、「書庫利用講習会」を受講すると自分で入って探すことができます。

小学校、中学校教科書のみ2冊ずつ所蔵しています。



#### どれが自分の必要な教師用指導書かわからない...

教科書は一般の本に比べると書名に特徴が少なく、改訂されてもその書名がほとんど変わらないのが普通です。このため、数多くの資料の中から自分の必要なものを見分けたり、データベースで検索するのが困難な場合があります。そんなときは、教科書に表示されている教科書記号・番号をチェックして活用しましょう。主に教科書の表紙や奥付（出版に関する情報が表示されている部分）に表示されています。

(例)	222	歴史716	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日新 222」...教科書会社の記号・番号(日本書籍新社)</li> <li>・「歴史716」...教科書記号・番号 これを使いましょう!</li> </ul>
	日新		

教科書番号 表示例

**HINT!**

附属図書館にある教科書・指導書を検索したい!

TIPS for LIBRARY E-TOPIAを使う 裏面の検索ガイドへ

**1階の教科書は館内利用なの?**

実習に行く全ての学生がいつでも必要な時に教科書・教師用指導書を利用できるように、1階配置分は貸出ができません。館内で参照したり、必要な部分を著作権の範囲でコピーして利用しましょう。書庫にある古い教科書・教師用指導書は貸出できます。

**学習指導要領**

附属図書館では文部科学省による学習指導要領も所蔵しています。検定教科書が作られるものとなる資料であるため複数購入し、一般の本と分けずに一緒に配置しています。最近のものは「1階開架コーナー」に、それ以前のは書庫にあります。

学習指導要領は学校種別毎に発行され、時と共に改訂されますが、書名は基本的に全て「学習指導要領」です。また全体を扱ったものに加えて教科毎の抜粋・解説版があります。こうした文部科学省編集のもの以外に、一般の出版社が発行している解説版があります。自分の必要な「学習指導要領」を見分け、効率的な検索を行うために、次のポイントをおさえるようにしましょう。

- ・ どの学校の学習指導要領が必要か? (小学校、中学校、高等学校、その他)
- ・ 何年度改訂の学習指導要領か?
- ・ 全体についてのものが必要か、特定の科目についてのものが必要か?
- ・ 文部科学省発行のものが必要か、一般の出版社によるものが必要か?

なお、文部科学省による学習指導要領本文はホームページでも見るすることができます。

**URL** [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/youryou/main4\\_a2.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youryou/main4_a2.htm)

**実践例、指導資料**

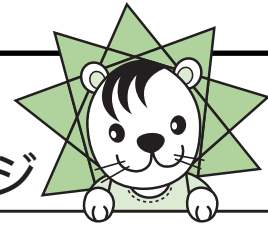
附属図書館では、各教科について授業の実践例を扱った資料を数多く所蔵しています。各種授業実践事例集(主に「1階開架コーナー」)、教科毎の事典(「2階教育辞典」)、教科毎の雑誌(「2階新着雑誌コーナー」「2階教育学・心理学バックナンバーコーナー」と、幅広く備えています。

それぞれのコーナーを歩いて見てまわったり、次のキーワードで学芸大OPACを検索してみましょう。お役立ちの一冊が見つかるはずですよ。

**キーワード**

「(学校種別)」「(教科名)」「授業」「指導」「案」「実践」 ... など

検索するときは、「(学校種別)」「(教科名)」とその他のキーワードを組み合わせるようにしましょう。



## 先輩から教育実習生へのメッセージ

# 基礎実習の思い出

藤井 舞

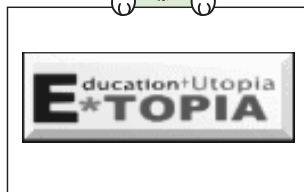
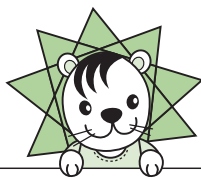
私は三年次基礎実習を附属小金井中学校で行いました。全てが初めての経験なので多くの不安を抱えつつ、実習前には毎日のように図書館に通い詰めて指導書を片手に指導案を考えました。そしていざ実習が始まってみると、考えていた日々の指導案も指導計画も書き直しとなり、睡眠時間を充分にとることができないまま授業をするという日々でしたが、生徒に会うと疲れが和らぎ1時間の授業で多くを理解してもらいたいという思いが授業を重ねるごとに強くなりました。

また、担当の先生は実習生であるにも関わらず、私を“先生”として扱って下さったことで、学生だからある程度までいいやというようないい加減な思いで実習に臨むことは許されないのだと気持ちが引き締まりました。

どの学校に配属になっても苦勞は耐えないことと思います。しかし、そんな時に支えとなるのが一緒に実習をやっている仲間であり、生徒の存在です。一人の生徒が放課後に教室に残って問題を解いていました。一緒に考えて問題を解くとその生徒はとても嬉しそうに、「先生わかったよ!」と言い、次の日から私の授業で積極的に発言するようになりました。1対40ではどうしても生徒一人一人の個人理解まで行き届かない部分が出てきてしまうと思います。しかし、授業以外の時間で、クラス全員と話をし、名前を覚えることで、生徒も教師にきちんと向き合ってくれるのだと実感することができました。

これから実習に臨まれるみなさんは不安も大きいと思いますが、それ以上に得るものは多大です。自分が持てる全力で児童・生徒へ接してください。

(ふじい・まい 大学院国語教育専攻)



### 図書館ホームページおすすめコンテンツ

#### E - TOPIA (いーとぴあ)

E - TOPIAは現職教員や研究者、教員を目指す学生など教育に関わる方に必要な情報を効率よく収集する環境を提供する、教育系電子情報ナビゲーションシステムです。

[編集発行] 東京学芸大学附属図書館

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1 TEL 042-329-7223 / FAX 042-329-7226

URL <http://library.u-gakugei.ac.jp/> 携帯版URL <http://library.u-gakugei.ac.jp/i/>

